



輝きなんせ鳥取

KINANSE TOTTORI

特集
農業と
男女共同参画



(関連記事 2 ~ 3 頁)

— 目 次 —

- 輝ひとく女と男ひとにインタビュー 2P
- 農業経営における男女共同参画 3P
- 「輝なんせ鳥取」NEWS 4P
- 女ひとと男ひととのハーモニーフェスタ開催レポート 5P
- 鳥取市男女共同参画かがやき企業紹介 6P

ひとひと 輝く女と男にインタビュー



鳥取市農業委員会 会長 濱田 香さん

女性は農業人口の約半数を占め、農業や地域活動でも重要な役割を果たしています。昨年6月、鳥取県で女性初の鳥取市農業委員会会長に就任された、濱田香さんにお話を伺いました。

Q 農業委員会とは？

農業委員24人（女性2人）農地利用最適化推進員48人（女性1人）で構成されており、主な業務として、農地の利用最適化を行っています。例えば、遊休農地を細分化して農業者に分配するなど。また、参入者の支援や、農地に関する各種申請手続き等も行っています。

Q 全国（1703組織）でも女性の農業委員会会長は24人しかいないが、会長になることに抵抗はなかった？

実家が農家で、若い頃から地元の農家の人々と地域活動をしていたため、『男性社会』に入ることにあまり抵抗はありませんでした。また、兼業で農業をしていた夫が専業になったことで農業との両立も可能となり、子育ても一段落したことから就任を決めました。

Q 実際就任してみてどうでしたか。

30代の頃、6年間農業委員をしていましたが、離れている間に制度・組織の変革があり、スキル、経験不足、年齢的な事等で荷が重く感じることもあります。しかし、周囲の支えにより、「リーダーの形は人それぞれで、自分らしくすればよい」と思えるようになりました。

濱田さんは農業委員会会長、自身の農業に加え、「とっとり農業女子ネットワーク」や「らっきょう女子会」の一員としても活動されています。

Q どのような思いで活動をされていますか。

※「とっとり農業女子ネットワーク」では、個々

のスキルアップはもとより、農業の楽しさを発信し、女性就農者を増やすことを目的として活動しています。また、地元（福部町）で結成した『らっきょう女子会』では、らっきょうの栽培・加工・商品化に取り組んでいます。共通しているのは、「女性たちが自分の力でやりたいことをやり、楽しむこと」。これらの活動を通し、『農業は楽しい!』ということを発信していき、女性就農者の増加と更なる女性の活躍に繋がってほしいと思います。

Q 今後の展望をお願いします。

委員会の定例総会とは別に、些細な地域の困りごとを話してもらう「座談会」を昨年初めて開催しました。「座談会」で出た問題の解決策を皆で考えています。気軽に悩みを話せる場として、今後もこれは続けていきたいです。また、他の市町村の事例なども参考にし、農業者との橋渡しとなるような委員会となっていければと思います。



座談会の様子

※「とっとり農業女子ネットワーク」県内で農業に従事する女性たちで結成された団体。会員が交流や連携を通して事業を企画・運営している。

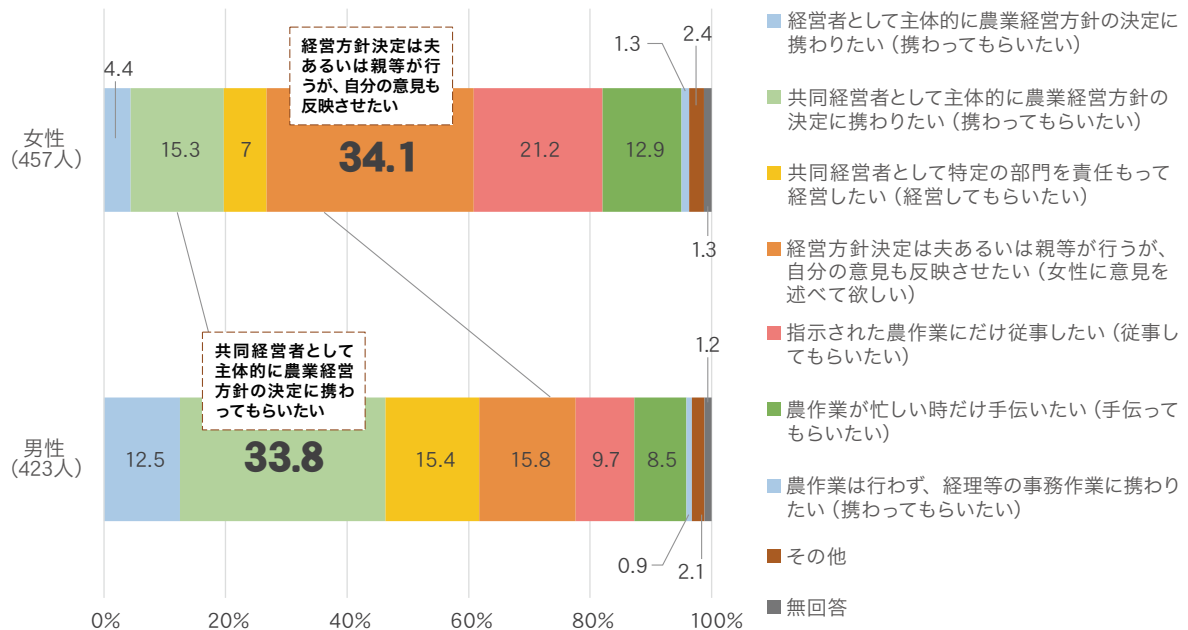


「らっきょう女子会」が開発した商品

農業経営における男女共同参画

農業人口の半数を占める女性。現在の農業経営における女性の参画状況をデータで見ていきます。

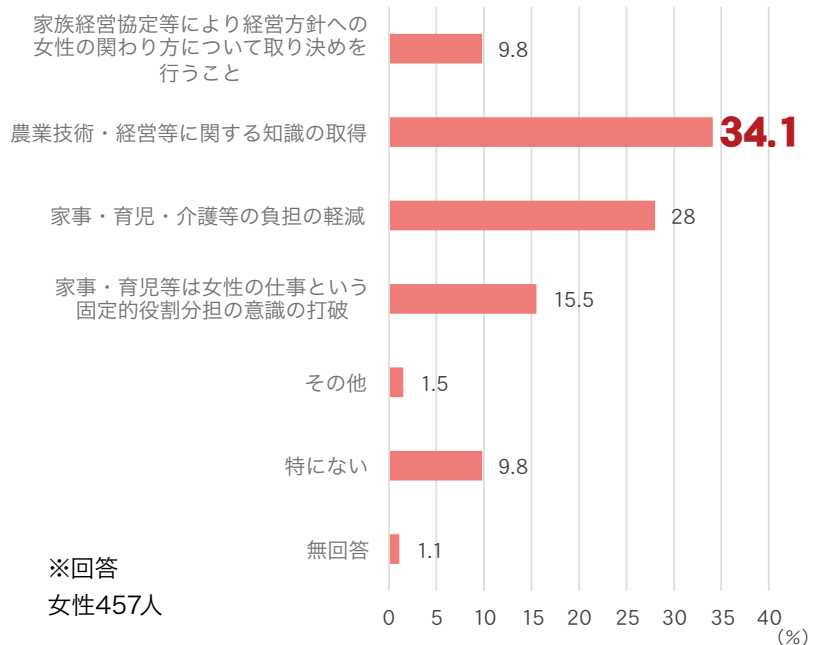
図-1 女性の農業経営への関わり方に関する女性の意向及び男性の意識



女性の農業経営への関わり方について、女性で最も高い回答は「経営方針決定は夫あるいは親等が行うが、自分の意見を反映させたい」。それに対し、男性の最も高い回答は「女性に共同経営者として主体的に経営に携わって欲しい」。女性より男性の方が、女性に農業経営に携わってほしいと思っていることが分かる。ま

た、図2より女性が経営方針の決定に参画しやすい環境で必要なことは「農業技術・経営等に関する知識の取得」。次いで「家事・育児・介護等の負担の軽減」となった。女性の技術・経営スキルを上げる研修会等を実施し、周囲の理解をより深めていけば、「女性主導の農業経営」も進んでいくのではないだろうか。

図-2 女性が農業経営方針の決定に参画しやすい環境を整える上で、最も必要だと思うこと



※図1・2:平成29年度 農家における男女共同参画に関する意向調査(農林水産省)

* 輝なんせ鳥取 NEWS *

編集委員レポート

相談事例から学ぶモラルハラスメント ～見えない暴力と心の傷～

講師：本多 明美さん (Say 家族相談室代表)

11月19日 (鳥取市立中央図書館)

講師の本多さんは、中学校・高校の講師を経て、Say 家族相談室を立ち上げ、現在、夫婦・家族問題のカウンセリングを行っている。

まず、ハラスメントとは他者に対する発言などが、本人の意図に関係なく（自覚のないまま）相手の尊厳を傷つけたり、脅かしたりすること。モラルハラスメントの特徴は、身体的暴力ではなく、言葉や態度による精神的な嫌がらせ・脅しで相手を傷つけ、パートナー・夫婦間で行われることが多い。信頼している相手から受けるため、被害者は「悪いのは自分だ」と思い込まされてしまうようだ。

実際の相談ケースを通して実態を説明された。出会った当初は優しくかった夫が、結婚後は、妻に強圧的な言葉を浴びせるようになり、妻は精神的に追い詰められ、うつ状態に…。

被害者の中には、パートナーと離れた後も PTSD（心的外傷後ストレス障害）などの症状に苦しむ方もおり、その心の傷は大きいとのこと。

また、講義で配布された加害者・被害者のチェックシートでは、自分自身を振り返る項目があり、答えるうちに客観的に自分（パートナー）を見れるようになっていた。

60代前後の男性の参加者が予想外に多く、アンケートでは、「自分の家族に対する態度を反省することができた」という意見もあり、このセミナーの意義は大きいと感じた。



お父さんと一緒に！ ドイツお菓子作り教室

講師：アンドレーコヴィッツ・マリーさん (鳥取市国際交流員) 12月16日 (男女共同参画センター)

親子でドイツのお菓子を作る教室を開催しました。今回は8組の親子が参加。始めにマリーさんから、ドイツについてクイズ形式で学んだ後、調理スタート！メニューはスパイスを使ったクリスマスのクッキー。材料をこねたり、型抜きなどの作業を親子で協力して行い、会場は親子の笑い声で包まれています。

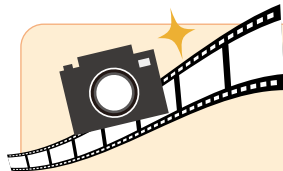


参加者の声

- ・娘とおかし作りをする機会のはめったにないので、ドイツを知ることと併せて楽しい時間を過ごせました。(40代男性・勤め人)
- ・とてもわかりやすく、いっしょに作る人とも仲良くてよかったです。おもしろかった。(8歳・女兒)

第26回女と男とのハーモニーフェスタを開催しました!

男女共同参画について楽しく考えるイベント「女(ひと)と男(ひと)とのハーモニーフェスタ」を、9月29日(土)、鳥取市民会館で開催しました。今年は「『いいね!』支え、支えられ、仕事も家庭も子育ても」をテーマに、鳥取湖陵高校生徒によるダンスパフォーマンスや、映画上映会、ワークショップなどが行われ、約400名の方が来場しました。今回はその様子を4コマ漫画でお届けします!



男女共同参画フォトコンテスト

《最優秀賞作品》



授賞式



『四人目の孫とジージ』
隅 恵理香さん



受賞者のみなさん

「ほのぼの子育て・孫育て」をテーマに、家庭・地域・職場などあらゆる分野で、互いが認め合い、性別に関わりなく自分らしい個性や能力を発揮できる社会をイメージさせる写真を募集しました。今年度は最優秀賞1作品、優秀賞

3作品、入選12作品が選ばれ「女(ひと)と男(ひと)とのハーモニーフェスタ」の会場で表彰されました。どの写真も、ほのぼのとした家族の時間が映し出された素敵な写真ばかりで、会場は来場者の笑顔に包まれました。

* 鳥取市男女共同参画かがやき企業に新たに10社が認定！ *

鳥取市では、男女共同参画及び女性の活躍推進に理解と意欲があり、仕事と家庭の両立に配慮しながら、男女共に働きやすい職場環境づくりに取り組んでいる企業を「鳥取市男女共同参画かがやき企業」として認定しています。審査の結果、以下の10企業が新たに認定されましたのでご紹介します。

企業名	住 所	業 種
大和設備株式会社	鳥取市商栄町227	建設業・管工事
有限会社村島工業	鳥取市国府町中郷55-6	建設業
株式会社千代田工務店	鳥取市二階町3丁目210番地	総合建設業
株式会社大北工業	鳥取市片原5-501	総合建設業
有限会社一高土木	鳥取市千代水1丁目149番地	建設業
有限会社鳥取管機	鳥取市庖丁人町11番地	管工事業
社会医療法人明和会医療福祉センター	鳥取市東町3丁目307番地	医療・福祉業
東洋交通施設株式会社	鳥取市安長78番地7	建設業
やまこう建設株式会社	鳥取市南隈255番地	建設業
株式会社ジューケン	鳥取市賀露町113番地2	建設業

<認定企業ロゴマーク>



このロゴマークを使用している企業は、
誰もが働きやすい環境づくりに
取り組んでいる企業です。

現在**29社**の企業が認定企業となっています！

■お問い合わせ先 鳥取市男女共同参画課 (0857) 20-3166

鳥取市男女共同参画センター 「輝なんせ鳥取」

〒680-0022

鳥取県鳥取市西町二丁目311番地
(鳥取市福祉文化会館内)

TEL / FAX (0857) 24-2704

メール: danjyo-center@city.tottori.lg.jp

鳥取市ホームページ: <http://www.city.tottori.lg.jp/>

f Facebook



編集後記

「農業＝力仕事であり、男性がやるもの」。そんなイメージを変えたいと、様々なことに取り組んでいる濱田さん。(2頁)さらに「自分が先頭に立つことで、女性も活躍できることを証明したい。」と、熱い思いを語られました。▼『食』の基盤であり、私たちの暮らしを支えている農業。しかし、残念ながら就業者数は年々減少中。世間では“肉食女子”が増える中、「プチ菜食主義者」の私としては、農業の衰退は“死活問題、(汗)！濱田さんらの活動によって、就業者が増えていくことを願ってやみません。また、一消費者として「地産地消」を心がけることで、農家のみなさんを応援していきたいです。